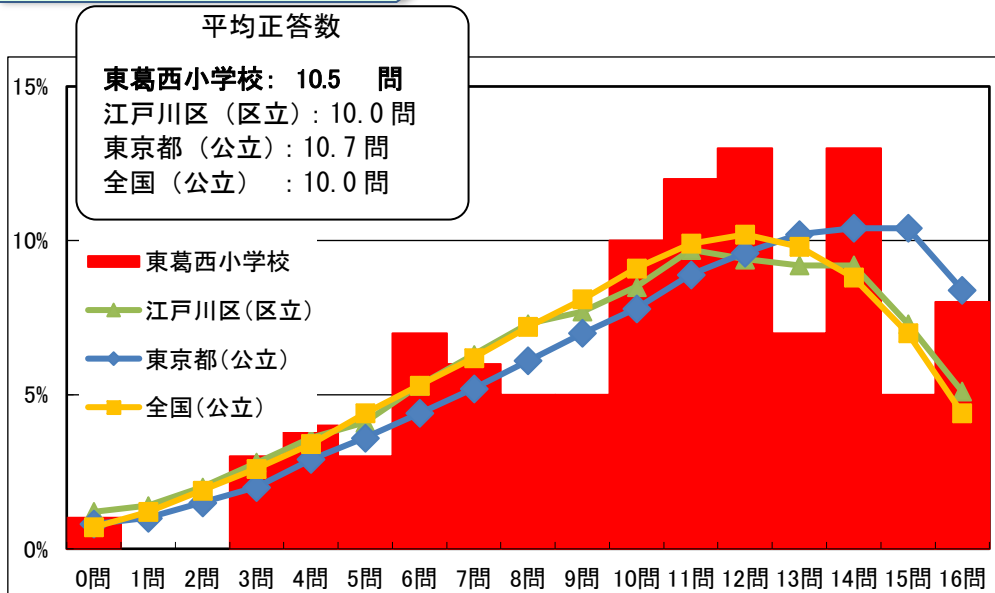


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 東葛西小学校

正答数分布

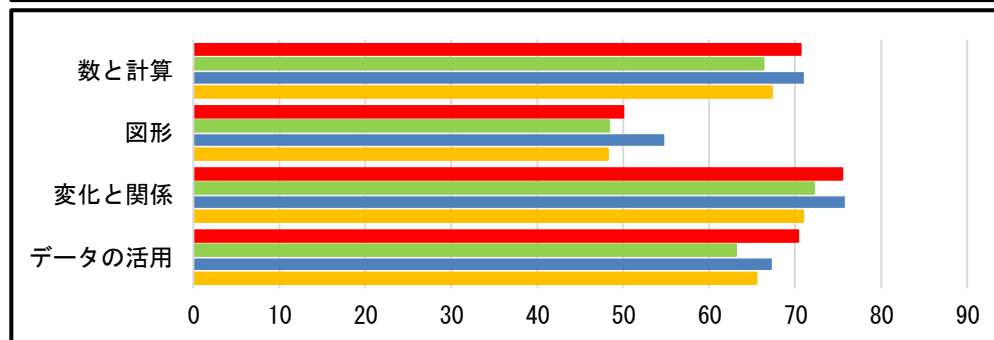
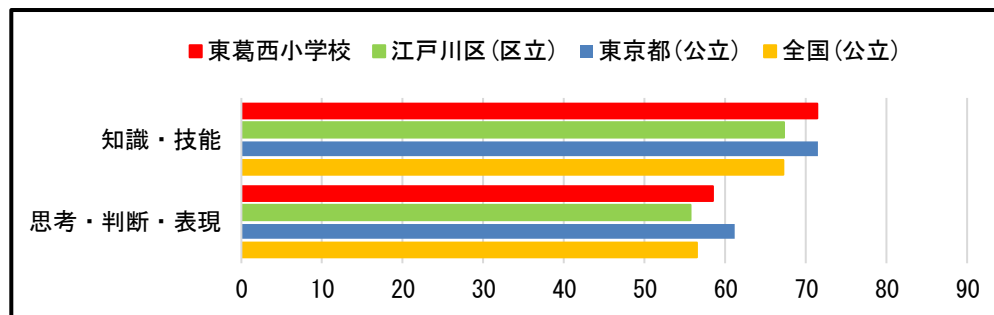


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
東葛西小学校	25	31.4	19.6	24
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

東葛西小学校	66%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	2.8ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

<分析結果>

- ・調査問題から分析すると、形の意味や性質について理解が定着していない。
- ・三角形の面積の問題において、言葉や数を用いて、面積の大小の判断を記述できていない。
- ・()を用いた式や、加法と減法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができていない。

<授業改善>

- ・誤答の多かった問題をやり直したり、類似問題を解いたりする。
- ・計算ドリルを2回以上繰り返し取り組ませる。
- ・九九検定などによる基礎学力の定着。